本書は熟読の上、大切に保管してください。

N8103-69
Upgrade型LTOライブラリ用
Fibre Channelコントローラ
取扱説明書

まえがき

本書は、N8103-69 Upgrade型LTOライブラリ用Fibre Channelコントローラ(以下「本装置」と呼びます)を正しく安全に使用するための手引きです。本装置を取り扱う前に必ずお読みください。また、本装置を使用するうえでわからないこと、不具合が起きたときにもぜひご利用ください。

基本処理装置本体の取り扱いについての説明は、基本処理装置に添付のマニュアルを参照してください。

なお、本装置を取り扱う前に次ページに示す「使用上のご注意」を必ずお読みください。

本書では、本装置の特長ならびに梱包箱を開けてから、本装置を使用できるようになるまでの作業について説明します。
なお、本装置はN8560-32/N8160-32 Upgrade型LTOライブラリ装置、N8560-40/N8160-40 Upgrade型LTOライブラリ用増設筐体専用のコントローラです。Upgrade型LTOライブラリへの取り付けは修理技術員(弊社保守員)が行います。LTOライブラリ装置の使用方法については、N8560-32/N8160-32 Upgrade型LTOライブラリ装置に添付の取扱説明書を参照してください。

856-850079-A
2001年　6月　初版

この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

⚠ 使用上のご注意　～必ずお読みください～

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本書にはどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
本書では危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されます。

⚠警告 指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

⚠注意 指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

記号	名称	意味	例
△	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	（例）（感電注意）
⃠	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	（例）（接触禁止）
●	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	（例）（プラグを抜け）

（本書での表示例）

本書で使用する記号とその意味は次のとおりです。

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指示された部品はものには触れないでください。けがをするおそれがあります。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。

警告

取り付け・取り外し・分解・修理・改造はしない

修理技術者以外の人は、絶対に取り付け・取り外し・分解・修理・改造を行わないでください。感電したり発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気口などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意

プラグを接続したままケーブルの取り付け・取り外しをしない

ケーブル等の取り付け・取り外しは、本装置を取り付けているUpgrade型LTO装置の電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源プラグを接続したまま装置内部の部品やケーブル、コネクタに触れると感電したり、ショートによる火災の原因となります。

損傷したケーブルは使わない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れていないことを確認してください。コネクタピンが曲がっていたり、汚れていたりするとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。

プラグを接続したままに手入れをしない

お手入れの際は必ず本装置を取り付けているUpgrade型LTO装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電することがあります。

雷が鳴ったら触らない

雷が発生しそうなとき、また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触れないでください。感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

本装置を使用するときに注意していただきたいことを次に示します。これらの注意を無視して装置を使用した場合、本装置または資産(データやその他の装置)が破壊されるおそれがありますので必ずお守りください。

静電気対策について

本装置および添付の部品は静電気に弱い電子部品で構成されています。静電気による製品の故障に十分注意してください。

- 本装置はN8560-32/N8160-32 Upgrade型LTOライブラリ装置またはN8560-40/N8160-40 Upgrade型LTOライブラリ用増設筐体に組み込むまで静電気防止用の袋に入れておいてください。
- 本装置を保管･運搬する場合は、静電気防止用の袋などに入れてください。

装置の廃棄について

本装置ならびに付属品の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

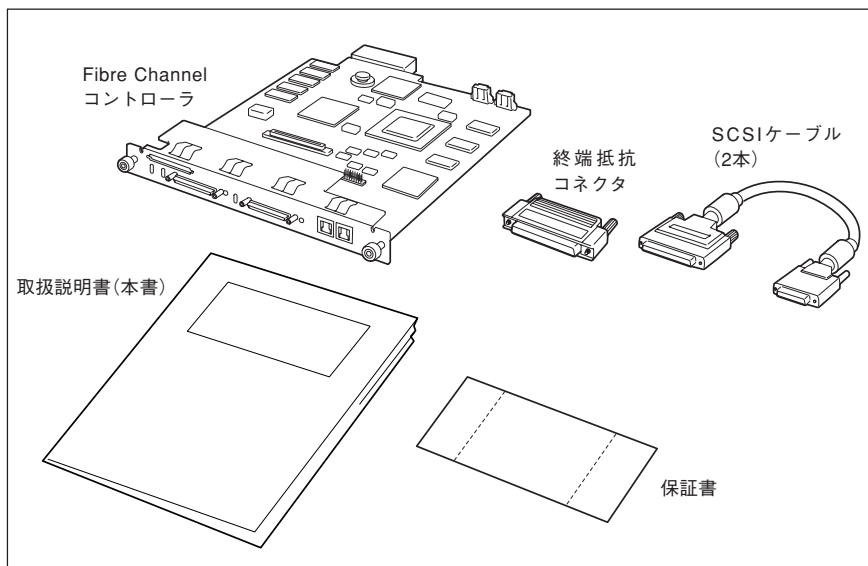
その他

基本処理装置および外部SCSI機器と接続するSCSIケーブルやファイバーチャネルケーブル、および終端抵抗コネクタの取り付け/取り外しは、必ず本装置を取り付けているUpgrade型LTO装置の電源をOFFにしてから行ってください。電源がONのまま行うと誤動作するようになったり、故障したりすることがあります。

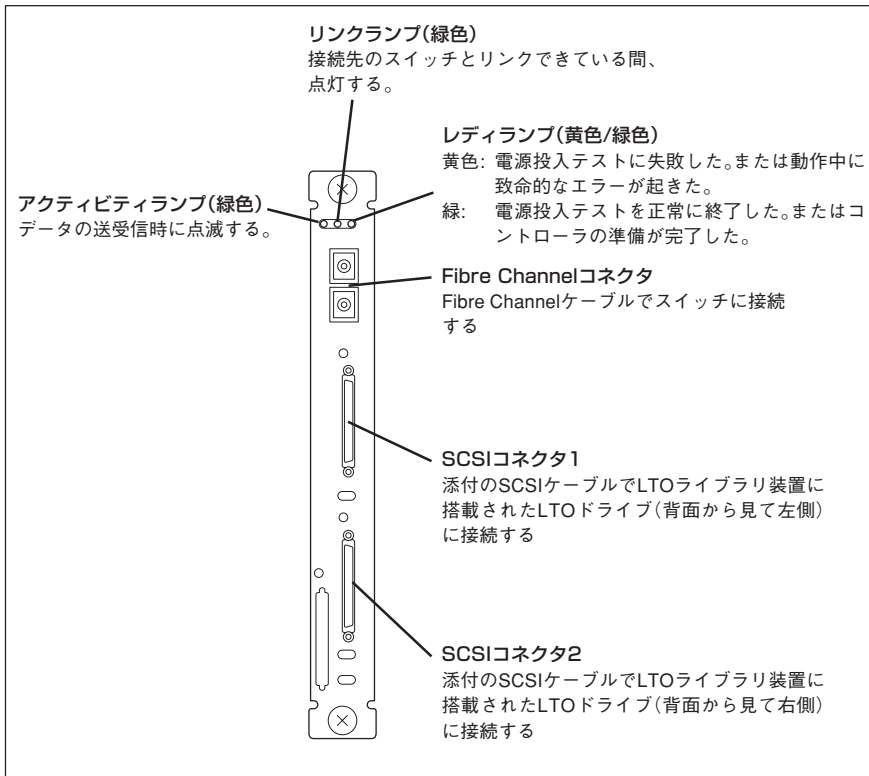
本装置の特長

本装置はN8560-32/N8160-32 Upgrade型LTOライブラリ装置、N8560-40/N8160-40 Upgrade型LTOライブラリ用増設筐体(以下「LTOライブラリ装置」と呼びます)専用のコントローラです。本装置をご使用になるためには必ずLTOライブラリ装置が必要です。本装置をLTOライブラリ装置に増設することにより、Fibre Channel接続での運用が可能になります。

箱の中身

梱包箱を開けて次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。

- 箱と緩衝材は装置の移動時や保管時に使用しますので大切に保管しておいてください。
- 本装置を譲渡する場合には、必ず本取扱説明書を併せて譲渡してください。
- 『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間中に故障した場合は『保証書』の記載内容に基づき無料修理いたします。

各部の名称とランプ表示

本装置にあるコネクタとその接続先、ならびに3つのランプ表示の意味について説明します。

取り付け・取り外し

本装置の取り付け･取り外しの作業は修理技術員(弊社保守員)に依頼してください。

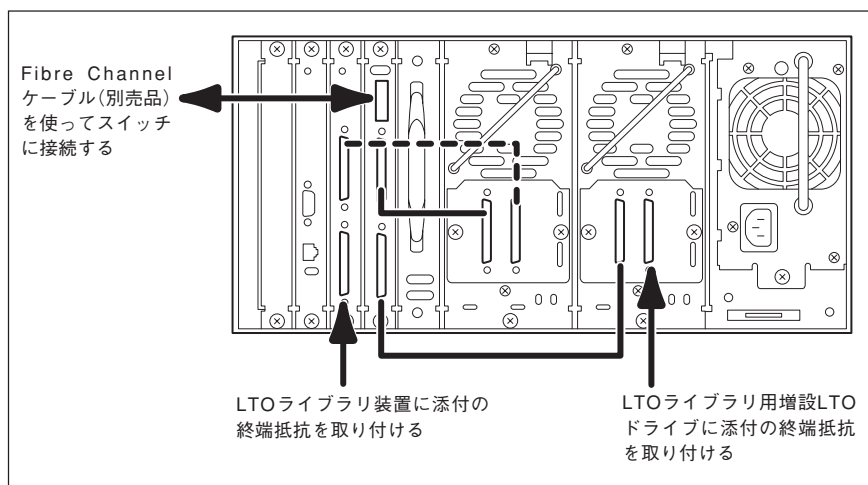
⚠警告

取り付け・取り外し・分解・修理・改造はしない

修理技術者以外の人は、絶対に取り付け・取り外し・分解・修理・改造を行わないでください。感電したり発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

ケーブル接続例

次にケーブル接続例を示します。実線は、本装置に添付のSCSIケーブルを、破線はLTOライブラリ装置またはLTOライブラリ用増設LTOドライブに添付のSCSIケーブルを示します。Fibre Channelケーブルは別途用意してください。

- **N8560-32/N8160-32 Upgrade型LTOライブラリ装置にN8560-33/N8160-33 Upgrade型LTOライブラリ用増設LTOドライブを増設した装置への接続図です。**
- **各スロット位置についてはN8560-32/N8160-32 Upgrade型LTOライブラリ装置に添付の取扱説明書を参照ください**
- **本装置はSCSIコネクタを2つ持っています。本装置を中継して他のSCSI機器(LTOドライブ、ライブラリコントローラカードを含む)へ接続する場合は最遠端に位置するSCSI機器に終端抵抗を取り付けてください。**
- **本装置のSCSIコネクタのうち、一方のみを他SCSI機器へ接続する場合には、残ったSCSIコネクタに添付の終端抵抗を取り付けてください。**

商標について

本書に記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
(4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) 本製品を第三者へ譲渡・売却する際は必ず本書も添えてください。